

消化器内科での後期研修(レジデント)のご案内

知識と技術を身に付け、社会に貢献できる人材を育成いたします

202206



内科専門研修に並行して消化器領域のサブスペシャルティーの専門研修を行うことができます。

消化管 肝臓 胆膵 化学療法

4つの専門グループをローテートし、集中してそれぞれの専門領域を学ぶことができます。(内視鏡手技は通年で指導が受けられます。)



各領域の専門医が安全性や品質に十分に配慮し、指導を行います。特に、ESDやERCPなどの内視鏡治療の指導医は、ハイボリュームセンターや大学などの専門施設で教育を受けたり、指導を行った経験があります。



Model practice



GS/ESD

豊富な救急疾患を経験できます。救急車の受け入れは東京都1位
消化管出血の受け入れは東京都1位です

24時間365日休みなく、消化器の緊急疾患を受け入れています。

休日夜間を問わず、必ず上級医と相談できる体制となっているため、安全かつ安心して研修することができます。

日常業務は、**土日は完全当番制**ですので、休日や自己研鑽の時間を持つことができます。

●消化管止血術の推移

年度	2019	2020	2021
件数	193	212	216



レジデントでも学会総会での発表を行う機会があります。

当科では、将来を担う若手のリサーチマインドの育成を大切にしています。レジデントの間に症例報告のみならず、臨床研究にも携わり、国内・国際学会での発表や、論文作成の機会もあります。

レジデント終了後の進路について提案します。

当科の後期研修医は当院で初期研修医をされた方よりも、他施設の出身の方のほうが多いです。当然ですが、出身病院による指導の差は全くありませんので、ご安心ください。

後期研修の開始時に、大学院入学や入局を決めていらっしゃる先生もいますが、多くは、レジデント終了後の進路が決まっていません。研修中に興味のある分野をみつけています。

研修を終了した先生方は大学院進学、ハイボリュームセンターでの研修、大学の医局入局、社会人大学院の入学など様々なところで活躍されています。進路に関する相談、紹介も積極的に行っております。

研修の感想 A先生(レジデント3年目)

私はレジデント1年目から当科に所属し診療にあたっています。当科は都内トップクラスの緊急内視鏡件数があり、豊富な症例を経験できます。また、各分野のエキスパートの先生方から指導を受けることができ、日々新たな成長を実感できる環境です。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

研修内容などのお問い合わせ：
国際医療研究センター病院
消化器内科 山本夏代 宛
natsuyoy0616+ncgmgastr@gmail.com

Newsweek誌の選ぶ「World's Best Specialized Hospitals 2022」世界70位!

当科は消化器内科領域で世界70位(日本では、54位の東大病院、68位の北大病院に次ぎ3位)に選出されました。日々、真摯に医療に取り組んでおります。